

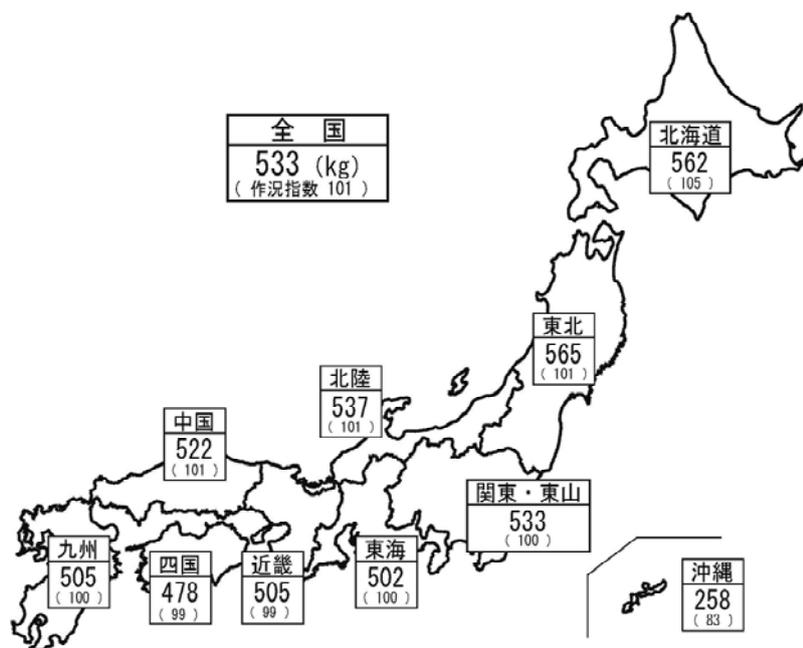
## 平成23年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

－ 水稻の10 a 当たり予想収量は533kg（作況指数101）の見込み －

### 【調査結果の概要】

- 1 平成23年産水稻の作付面積（子実用）は157万4,000haで、前年産に比べ5万1,000ha（対前年産比3%）減少した。  
また、主食用作付見込面積は152万6,000haが見込まれる。
- 2 10月15日現在における水稻の作柄は、全もみ数がおおむね平年並みに確保され、登熟もおおむね順調に推移していることから、全国の10 a 当たり予想収量は533kg（作況指数101）が見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は839万7,000 tが見込まれる。  
また、主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は813万4,000 tが見込まれる。

図 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（10月15日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の確認のための資料
- ・ 「農業災害補償法」に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎累年データ

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考			
				主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	作 況 指 数
	ha	kg	t	ha	t	kg	
昭和56年産	2,251,000	453	10,204,000	…	…	474	96
57	2,230,000	458	10,212,000	…	…	477	96
58	2,246,000	459	10,308,000	…	…	478	96
59	2,290,000	517	11,832,000	…	…	479	108
60	2,318,000	501	11,613,000	…	…	481	104
61	2,280,000	508	11,592,000	…	…	484	105
62	2,123,000	498	10,571,000	…	…	487	102
63	2,087,000	474	9,888,000	…	…	490	97
平成元	2,076,000	496	10,297,000	…	…	492	101
2	2,055,000	509	10,463,000	…	…	494	103
3	2,033,000	470	9,565,000	…	…	497	95
4	2,092,000	504	10,546,000	…	…	498	101
5	2,127,000	367	7,811,000	…	…	499	74
6	2,200,000	544	11,961,000	…	…	499	109
7	2,106,000	509	10,724,000	…	…	501	102
8	1,967,000	525	10,328,000	…	…	502	105
9	1,944,000	515	10,004,000	…	…	504	102
10	1,793,000	499	8,939,000	…	…	507	98
11	1,780,000	515	9,159,000	…	…	512	101
12	1,763,000	537	9,472,000	…	…	518	104
13	1,700,000	532	9,048,000	…	…	518	103
14	1,683,000	527	8,876,000	…	…	522	101
15	1,660,000	469	7,779,000	…	…	524	90
16	1,697,000	514	8,721,000	…	…	525	98
17	1,702,000	532	9,062,000	…	…	527	101
18	1,684,000	507	8,546,000	…	…	529	96
19	1,669,000	522	8,705,000	…	…	529	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

## 【調査結果】

1 平成23年産水稲作付面積から、青刈り用の面積を除いた子実用作付面積は157万4,000haで、前年産に比べ5万1,000ha（対前年産比3%）減少した。

また、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は152万6,000haで、前年産に比べ5万4,000ha（対前年産比3%）の減少が見込まれる。

2 10月15日現在における水稲の地域別の作柄は、北海道では、全もみ数が少なくなったものの、7月以降おおむね天候に恵まれ、登熟が良好となったことから、10a当たり予想収量は562kg（作況指数105）が見込まれる。

東北では、5月下旬から6月上旬にかけての低温・日照不足の影響により分けつが抑制されたものの、その後の天候がおおむね順調に推移し、全もみ数がおおむね平年並みで、登熟もおおむね平年を上回ったことから、10a当たり予想収量は565kg（同101）が見込まれる。

関東以西では、全もみ数がおおむね平年並みに確保され、登熟が多くの府県で平年並みなし平年を下回っていることから、北陸は10a当たり予想収量537kg（同101）、関東・東山は533kg（同100）、東海は502kg（同100）、近畿は505kg（同99）、中国は522kg（同101）、四国は478kg（同99）、九州は505kg（同100）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は533kg（同101）が見込まれる。

3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は839万7,000tが見込まれる。

また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は813万4,000tが見込まれる。

表 平成23年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収量 ②	予想収穫量（子実用）			参 考			
	実 数 ①	前年産との比較			実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 （主食用） ⑤=④×②	10a当たり 平年収量 ⑥	作況指数 ⑦=②/⑥
		対 差	対 比			対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	t	t	%	ha	t	kg	
全 国	1,574,000	△ 51,000	97	533	8,397,000	△ 81,000	99	1,526,000	8,134,000	530	101
北 海 道	112,900	△ 1,700	99	562	634,500	32,800	105	109,100	613,100	535	105
東 北	389,000	△ 30,300	93	565	2,199,000	△ 140,000	94	370,900	2,096,000	558	101
北 陸	208,800	△ 2,100	99	537	1,122,000	13,000	101	195,500	1,050,000	533	101
関 東・東 山	295,600	△ 3,900	99	533	1,577,000	19,000	101	289,700	1,546,000	535	100
東 海	102,400	△ 2,000	98	502	514,400	△ 2,600	99	101,500	510,400	503	100
近 畿	109,300	△ 1,200	99	505	551,600	△ 400	100	107,700	543,200	509	99
中 国	115,100	△ 2,400	98	522	600,400	11,600	102	113,200	590,500	517	101
四 国	56,200	△ 1,500	97	478	268,600	△ 8,700	97	55,900	267,100	484	99
九 州	183,500	△ 6,500	97	505	927,300	△ 5,700	99	181,300	915,800	503	100
沖 縄	921	7	101	258	2,380	△ 300	89	921	2,380	309	83

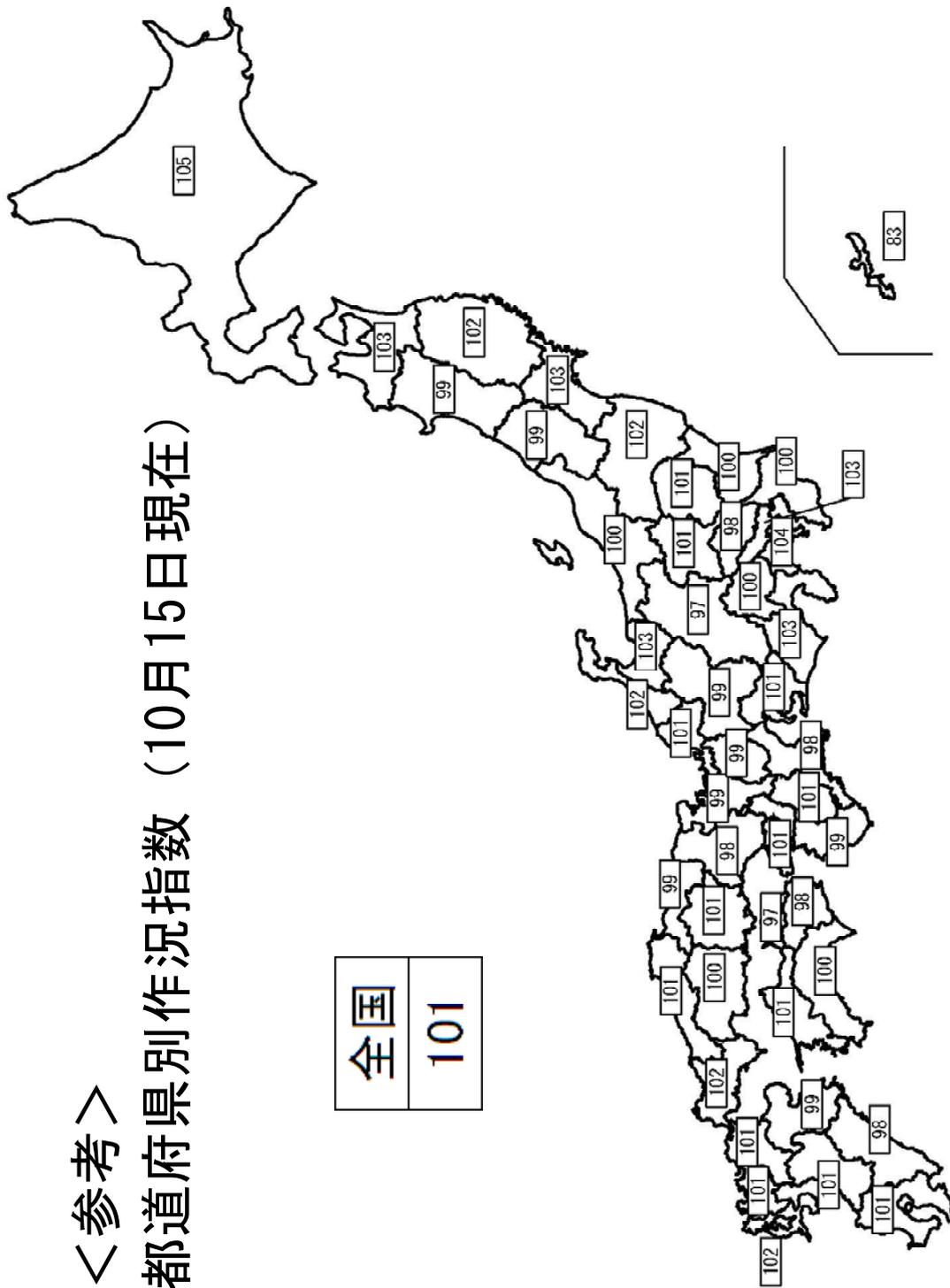
注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。

3 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

# 〈参考〉 都道府県別作況指数（10月15日現在）



- 注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。  
 2 沖縄県の作況指数は、第一期稲の10a当たり収量及び第二期稲の10a当たり平年収量から算出した沖縄県計の10a当たり予想収量と、10a当たり平年収量の比率である。

# 【統計表】

## 統計表一覧

ページ

- 1 平成23年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）・・・6
- 2 平成23年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）・・・8
- 参考1 平成23年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び  
10 a 当たり収量内訳（全国農業地域別概数値）・・・9
- 参考2 平成23年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）・・・10
- 参考3 収穫量調査の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 参考4 作況標本筆とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

## 利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7 桁以上 ( 100万 )	6 桁 ( 10万 )	5 桁 ( 万 )	4 桁 (1,000)	3 桁以下 ( 100 )
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。  
「－」：事実のないもの  
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの  
「△」：負数又は減少したもの

# 1 平成23年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全 都 道 府 県	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収量 ②	予想収穫量
	実数 ①	前年産との比較			
		対差	対比		
	ha	ha	%	kg	t
全 国 (1)	1,574,000	△ 51,000	97	533	8,397,000
北 海 道 (2)	112,900	△ 1,700	99	562	634,500
青 森 (3)	46,900	△ 2,500	95	598	280,500
岩 手 (4)	54,500	△ 1,900	97	546	297,600
宮 城 (5)	66,400	△ 7,000	90	547	363,200
秋 田 (6)	90,000	△ 1,300	99	569	512,100
山 形 (7)	66,700	△ 1,500	98	588	392,200
福 島 (8)	64,400	△ 16,200	80	549	353,600
茨 城 (9)	75,500	△ 1,700	98	521	393,400
栃 木 (10)	64,000	100	100	547	350,100
群 馬 (11)	17,600	△ 400	98	501	88,200
埼 玉 (12)	35,200	△ 500	99	485	170,700
千 葉 (13)	60,400	△ 1,000	98	533	321,900
東 京 (14)	165	△ 14	92	424	700
神 奈 川 (15)	3,220	0	100	511	16,500
新 潟 (16)	117,400	△ 500	100	538	631,600
富 山 (17)	38,900	△ 900	98	551	214,300
石 川 (18)	26,000	△ 400	98	528	137,300
福 井 (19)	26,500	△ 300	99	523	138,600
山 梨 (20)	5,290	0	100	545	28,800
長 野 (21)	34,200	△ 400	99	604	206,600
岐 阜 (22)	24,600	△ 300	99	485	119,300
静 岡 (23)	17,200	△ 300	98	539	92,700
愛 知 (24)	30,300	△ 700	98	510	154,500
三 重 (25)	30,300	△ 700	98	488	147,900
滋 賀 (26)	32,700	△ 400	99	513	167,800
京 都 (27)	15,600	△ 200	99	508	79,200
大 阪 (28)	5,740	△ 80	99	502	28,800
兵 庫 (29)	38,400	△ 400	99	495	190,100
奈 良 (30)	9,330	△ 30	100	519	48,400
和 歌 山 (31)	7,590	△ 30	100	492	37,300
鳥 取 (32)	14,100	△ 100	99	509	71,800
島 根 (33)	19,000	△ 400	98	514	97,700
岡 山 (34)	33,100	△ 700	98	533	176,400
広 島 (35)	26,000	△ 400	98	523	136,000
山 口 (36)	23,000	△ 900	96	515	118,500
徳 島 (37)	13,200	△ 300	98	463	61,100
早 期 栽 培 (38)	5,080	△ 110	98	449	22,800
普 通 栽 培 (39)	8,140	△ 150	98	472	38,400
香 川 (40)	14,700	△ 600	96	483	71,000
愛 媛 (41)	15,400	△ 400	97	502	77,300
高 知 (42)	12,900	△ 200	98	459	59,200
早 期 栽 培 (43)	7,560	△ 130	98	466	35,200
普 通 栽 培 (44)	5,340	△ 110	98	448	23,900
福 岡 (45)	38,700	△ 700	98	504	195,000
佐 賀 (46)	26,600	△ 1,200	96	531	141,200
長 崎 (47)	13,700	△ 300	98	486	66,600
熊 本 (48)	37,900	△ 1,600	96	519	196,700
大 分 (49)	23,500	△ 900	96	499	117,300
宮 崎 (50)	19,000	△ 1,100	95	489	92,900
早 期 栽 培 (51)	7,890	△ 690	92	462	36,500
普 通 栽 培 (52)	11,100	△ 400	97	509	56,500
鹿 児 島 (53)	24,100	△ 700	97	488	117,600
早 期 栽 培 (54)	5,540	△ 350	94	428	23,700
普 通 栽 培 (55)	18,600	△ 300	98	506	94,100
沖 縄 (56)	921	7	101	258	2,380
第 一 期 稲 (57)	616	25	104	297	1,830
第 二 期 稲 (58)	305	△ 18	94	...	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。

(子実用)		参 考				
前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④ ha	予想収穫量 (主食用) ⑤=②×④ t	10a当たり 平年収量 ⑥ kg	作況 指数 ⑦=②/⑥	
対差	対比					
t	%					
△ 81,000	99	1,526,000	8,134,000	530	101	(1)
32,800	105	109,100	613,100	535	105	(2)
△ 5,000	98	45,500	272,100	582	103	(3)
△ 14,900	95	52,200	285,000	533	102	(4)
△ 36,800	91	66,100	361,600	530	103	(5)
23,600	105	79,300	451,200	573	99	(6)
△ 14,300	96	63,600	374,000	594	99	(7)
△ 92,100	79	64,100	351,900	537	102	(8)
△ 8,800	98	74,600	388,700	522	100	(9)
8,200	102	61,400	335,900	540	101	(10)
15,100	121	16,800	84,200	494	101	(11)
18,600	112	34,900	169,300	493	98	(12)
△ 10,900	97	59,800	318,700	533	100	(13)
△ 9	99	165	700	411	103	(14)
1,100	107	3,210	16,400	490	104	(15)
13,800	102	108,100	581,600	539	100	(16)
200	100	36,500	201,100	535	103	(17)
△ 1,000	99	25,200	133,100	519	102	(18)
△ 200	100	25,600	133,900	517	101	(19)
900	103	5,260	28,700	547	100	(20)
△ 5,200	98	33,700	203,500	623	97	(21)
1,000	101	24,500	118,800	488	99	(22)
3,100	103	17,200	92,700	521	103	(23)
400	100	30,000	153,000	507	101	(24)
△ 7,100	95	29,900	145,900	500	98	(25)
△ 3,000	98	32,100	164,700	518	99	(26)
△ 400	99	15,400	78,200	511	99	(27)
500	102	5,730	28,800	495	101	(28)
1,500	101	37,600	186,100	504	98	(29)
1,100	102	9,270	48,100	513	101	(30)
△ 100	100	7,590	37,300	495	99	(31)
△ 200	100	13,900	70,800	514	99	(32)
4,200	104	18,800	96,600	509	101	(33)
4,400	103	32,700	174,300	526	101	(34)
1,100	101	25,500	133,400	523	100	(35)
2,100	102	22,400	115,400	504	102	(36)
△ 2,500	96	13,200	61,100	474	98	(37)
△ 700	97	...	...	463	97	(38)
△ 1,600	96	...	...	480	98	(39)
△ 5,800	92	14,500	70,000	499	97	(40)
△ 900	99	15,300	76,800	498	101	(41)
500	101	12,900	59,200	460	100	(42)
△ 800	98	...	...	481	97	(43)
1,000	104	...	...	430	104	(44)
3,500	102	38,100	192,000	499	101	(45)
4,100	103	26,400	140,200	527	101	(46)
3,700	106	13,700	66,600	476	102	(47)
△ 5,500	97	37,300	193,600	515	101	(48)
△ 3,500	97	23,400	116,800	503	99	(49)
△ 6,800	93	18,800	91,900	497	98	(50)
△ 4,600	89	...	...	480	96	(51)
△ 2,000	97	...	...	511	100	(52)
△ 1,200	99	23,500	114,700	481	101	(53)
△ 1,600	94	...	...	441	97	(54)
700	101	...	...	493	103	(55)
△ 300	89	921	2,380	309	83	(56)
△ 390	82	...	...	370	80	(57)
...	...	...	...	...	...	(58)

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

## 2 平成23年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

都道府県	刈 取 期						刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		当年値	対平年差	
				対平年	対前年			
	月 日	月 日	月 日			%	ポイント	
北海道	9. 15	9. 25	10. 4	3日早	7日遅	100	1	
青森	9. 25	10. 3	10. 12	1日早	7日遅	99	8	
岩手	9. 25	10. 5	…	並み	4日遅	90	△ 3	
宮城	9. 24	10. 2	10. 12	並み	3日遅	97	1	
秋田	9. 25	10. 4	10. 14	2日遅	4日遅	96	△ 2	
山形	9. 23	10. 4	10. 12	1日遅	5日遅	98	△ 1	
福島	9. 28	10. 9	…	2日早	2日遅	83	1	
茨城	9. 1	9. 13	10. 1	2日早	5日遅	100	0	
栃木	9. 13	9. 25	…	並み	6日遅	93	0	
群馬	9. 22	10. 14	…	2日早	3日遅	57	4	
埼玉	9. 1	9. 24	…	並み	4日遅	92	3	
千葉	8. 22	9. 4	9. 16	1日早	3日遅	100	0	
東京都	9. 25	10. 2	10. 15	4日早	1日早	95	8	
神奈川県	9. 16	10. 5	…	1日早	3日遅	86	0	
新潟	9. 6	9. 20	10. 2	4日早	3日早	100	0	
富山	8. 28	9. 18	9. 29	並み	並み	100	0	
石川	8. 29	9. 13	9. 27	2日早	1日早	100	0	
福井	8. 23	9. 11	9. 25	1日遅	並み	100	0	
山梨	9. 16	10. 1	…	2日早	2日遅	89	2	
長野	9. 17	9. 30	10. 15	2日早	2日遅	95	4	
岐阜	8. 31	10. 2	…	1日早	2日遅	78	0	
静岡	8. 31	9. 21	…	2日早	1日遅	90	1	
愛知	8. 31	10. 6	…	1日遅	3日遅	70	△ 1	
三重	8. 22	9. 3	9. 18	並み	並み	100	0	
滋賀	9. 9	9. 16	9. 27	1日早	並み	100	0	
京都	9. 8	9. 24	…	並み	2日遅	91	0	
大阪	9. 14	10. 12	…	並み	1日遅	72	1	
兵庫	9. 6	9. 23	…	1日早	2日遅	85	△ 4	
奈良	9. 9	…	…	…	…	48	△ 11	
和歌山	8. 25	9. 19	10. 12	並み	1日遅	96	△ 1	
鳥取	9. 8	9. 23	10. 9	1日遅	4日遅	98	0	
島根	8. 31	9. 21	10. 8	4日遅	9日遅	99	0	
岡山	9. 7	10. 4	…	並み	1日遅	65	△ 1	
広島	9. 7	9. 27	10. 13	1日遅	5日遅	96	1	
山口	9. 6	9. 23	10. 15	1日早	1日遅	95	0	
徳島	早期栽培	8. 16	8. 25	9. 4	3日遅	2日遅	100	0
	普通栽培	8. 22	9. 10	10. 12	1日早	1日遅	98	0
香川		8. 26	9. 30	…	1日早	並み	91	2
愛媛		8. 20	9. 23	…	並み	2日遅	92	△ 2
高知	早期栽培	8. 5	8. 13	8. 22	並み	2日早	100	0
	普通栽培	9. 23	10. 6	…	3日遅	4日遅	91	△ 2
福岡		9. 5	10. 3	…	1日早	1日遅	90	3
佐賀		9. 3	10. 8	…	並み	1日早	68	△ 2
長崎		8. 25	10. 11	…	1日遅	1日早	67	△ 4
熊本		8. 16	10. 8	…	1日遅	3日遅	69	0
大分		9. 20	…	…	…	47	△ 8	
宮崎	早期栽培	7. 26	8. 3	8. 10	1日遅	4日早	100	0
	普通栽培	10. 3	10. 15	…	1日遅	2日遅	56	△ 6
鹿児島	早期栽培	7. 30	8. 7	8. 17	3日遅	1日遅	100	0
	普通栽培	10. 6	…	…	…	49	△ 10	
沖縄	第一期稲	6. 22	7. 3	7. 19	8日遅	10日遅	100	0
	第二期稲	…	…	…	…	-	-	

注：1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2 「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

3 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は平年より少ないことを示す。

【参考1】

平成23年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a 当たり収量内訳  
(全国農業地域別概数値)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（【参考3】参照）。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、刈取り済みの地域について、ふるい目幅の重量割合とふるい目幅別10a 当たり収量の概数値を示すと次のとおりである。

単位 { 重量割合：％  
対平均差：ポイント

区分	合計	ふるい目幅						
		2.00mm以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm	
全国農業地域								
全 国	重量割合	100.0	75.8	16.6	3.1	2.2	1.4	0.9
	対平均差		△ 0.4	△ 0.2	0.1	0.2	0.2	0.1
北 海 道	重量割合	100.0	87.3	8.7	1.5	1.2	0.8	0.5
	対平均差		8.1	△ 6.4	△ 1.0	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.1
東 北	重量割合	100.0	78.7	15.2	2.6	1.7	1.1	0.7
	対平均差		△ 1.7	1.1	0.2	0.1	0.2	0.1
北 陸	重量割合	100.0	78.0	15.6	2.5	1.9	1.3	0.7
	対平均差		△ 2.1	0.8	0.3	0.5	0.4	0.1
関 東・東 山	重量割合	100.0	68.3	21.8	4.1	3.0	1.8	1.0
	対平均差		△ 2.6	0.7	0.6	0.7	0.5	0.1
東 海	重量割合	100.0	75.2	17.0	3.4	2.0	1.3	1.1
	対平均差		△ 3.2	1.8	0.5	0.4	0.3	0.2
近 畿	重量割合	100.0	78.7	13.6	2.8	2.3	1.6	1.0
	対平均差		0.8	△ 1.6	0.2	0.2	0.3	0.1
中 国	重量割合	100.0	81.1	12.7	2.3	1.8	1.3	0.8
	対平均差		△ 0.5	0.0	△ 0.1	0.2	0.3	0.1
四 国	重量割合	100.0	70.2	19.3	4.1	2.9	2.2	1.3
	対平均差		1.7	△ 2.0	△ 0.5	0.1	0.4	0.3
九 州	重量割合	100.0	68.0	21.5	4.4	2.8	2.1	1.2
	対平均差		3.7	△ 2.2	△ 0.9	△ 0.5	0.0	△ 0.1

単位：kg

区分	10a 当たり 収 量 (1.70mm選別)	選別ふるい目幅別10a 当たり収量				
		2.00mm 選別	1.90mm 選別	1.85mm 選別	1.80mm 選別	1.75mm 選別
全 国	533	404	492	509	521	528
北 海 道	562	491	540	548	555	559
東 北	565	445	531	545	555	561
北 陸	537	419	503	516	526	533
関 東・東 山	533	364	480	502	518	528
東 海	502	378	463	480	490	496
近 畿	505	397	466	480	492	500
中 国	522	423	490	502	511	518
四 国	478	336	428	447	461	472
九 州	505	343	452	474	488	499

- 注：1 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。  
 2 選別ふるい目幅別10a 当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a 当たり収量のことである。  
 3 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

【参考2】

平成23年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数		
北海道 (105)	石狩	105	群馬 (101)	中毛	101		
	南空知	105		北毛	102		
	北空知	102		東毛	102		
	上川	107		埼玉 (98)	東部	96	
	留萌	107			西部	104	
	渡島	105			千葉 (100)	京葉	101
	檜山	104				九十九里	98
	後志	104				南房総	102
	胆振	107		東京 (103)	東京	103	
	日高	106			神奈川 (104)	神奈川	104
十勝	126	新潟 (100)	岩船			101	
網走	121		下越北	102			
青森 (103)	青森		103	下越南	98		
	津軽	101	中越	99			
	南部・下北	105	中魚沼	100			
		105	上越	103			
岩手 (102)	北上川上流	101	佐渡	102			
	北上川下流	103	富山 (103)	東部	103		
	東部	103		西部	103		
	北部	102		石川 (102)	加賀	102	
宮城 (103)	南部	103			能登	102	
	中部	104	福井 (101)	嶺北	101		
	北部	103		嶺南	101		
秋田 (99)	東部	104	山梨 (100)	山梨	100		
	県北	99		長野 (97)	東信	100	
		県中			100	南信	99
県南	99	中信	94				
山形 (99)	中通り	102	岐阜 (99)	北信	96		
		101		西南濃	100		
		99		中濃	99		
		97		東濃	100		
福島 (102)	中通り	101	飛騨	97			
	浜通り	101	静岡 (103)	東部	102		
	会津	99		中部	102		
茨城 (100)	北部	102		西部	105		
	鹿行部	100	栃木 (101)	北部	101		
	南部	100		中部	101		
	西部	98		南部	101		
100	101						

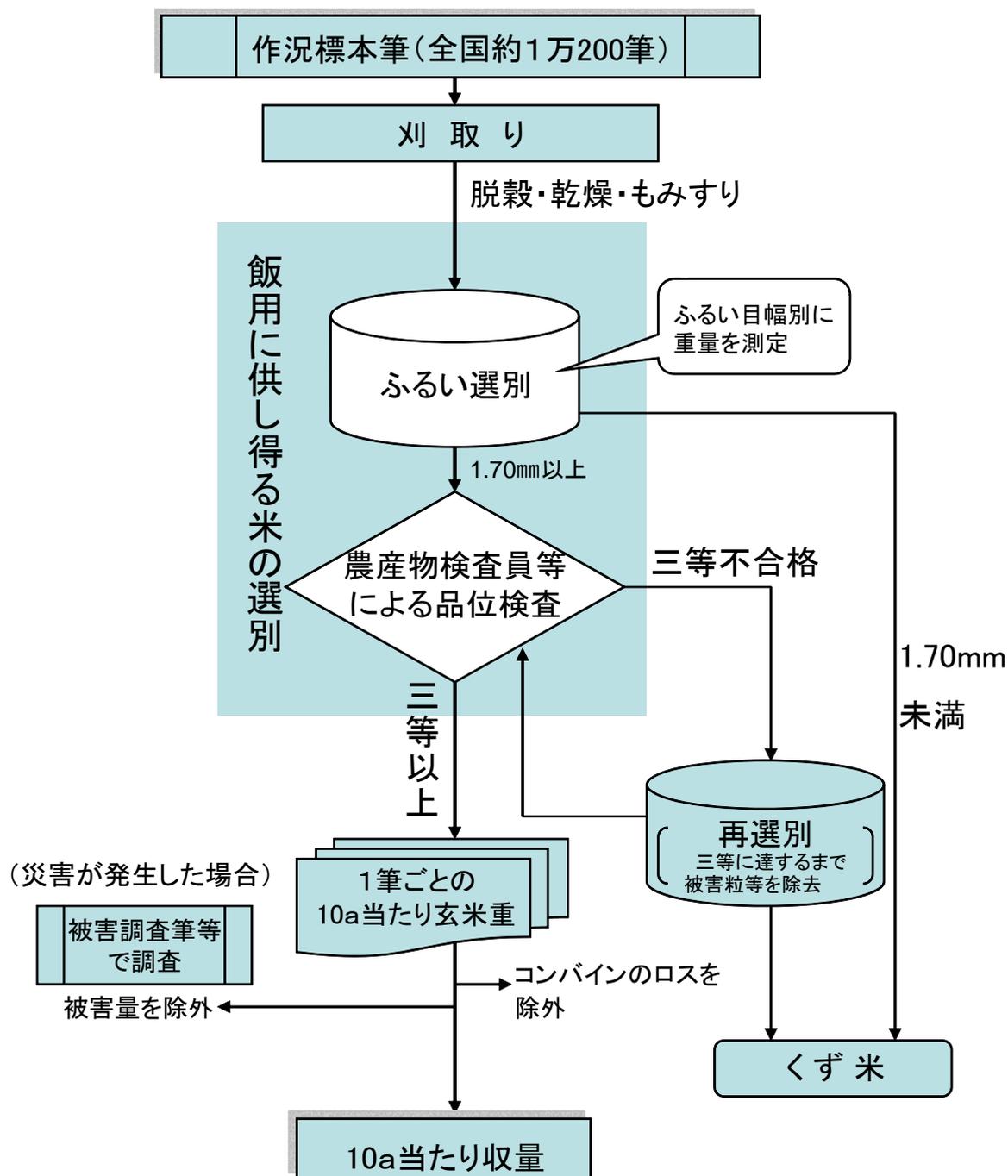
注：西南暖地の早期栽培等の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。なお、沖縄県の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (101)	尾張	101	高知 (100)	中東部	100
	西三河	101		西部	98
	東三河	100			
三重 (98)	北勢	99	福岡 (101)	福岡	100
	中勢	97		北九州・豊前	101
	南勢	95		筑豊	100
	伊賀	98		北筑後	101
滋賀 (99)	湖南	99	佐賀 (101)	佐賀	101
	湖北	100		松浦	100
京都 (99)	南部	100	長崎 (102)	西彼	101
	北部	99		東南部	101
大阪 (101)	大阪	101		県北	101
				五島	103
兵庫 (98)	県南	98	熊本 (101)	壱岐・対馬	108
	県北	99		県北	103
	淡路	100		阿蘇	95
奈良 (101)	奈良	101		県南	100
			天草	105	
和歌山 (99)	和歌山	99	大分 (99)	北部	100
				湾岸	98
鳥取 (99)	東部	98		南部	97
	西部	100	日田	104	
島根 (101)	出雲	100	宮崎 (98)	広域沿海	97
	石見	103		広域霧島	101
岡山 (101)	南部	101		西北山間	98
	中北部	102			
広島 (100)	南部	100	鹿児島 (101)	薩摩半島	100
	北部	100		出水薩摩	103
				伊佐始良	101
				大隅半島	102
山口 (102)	東部	102	沖縄 (83)	熊毛・大島	97
	西部	102		沖縄諸島	69
	長北	102		八重山	91
徳島 (98)	北部	98			
	南部	96			
香川 (97)	香川	97			
愛媛 (101)	東予	99			
	中予	99			
	南予	104			

【参考3】

## 収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考4】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考4】

ふで  
作況標本筆とは

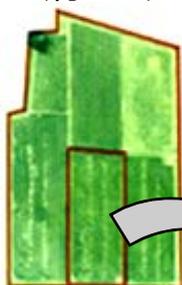
ふで  
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)は、都道府県ごとの水稻の10a当たり収量が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定(全国で約1万200筆)している。

都道府県内の全耕地  
(母集団)



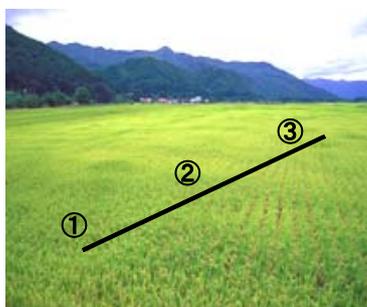
- 1 都道府県ごとの耕地を、約2ha(北海道は約10ha)の区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きのような選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区  
(約2ha)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆  
(全国で約1万200筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所(①、②、③)を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っている。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

### 2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

### 3 調査対象数

#### (1) 作付面積調査

標本単位区：38,981単位区 巡回・見積り：1,725市町村

#### (2) 予想収穫量調査

作況標本筆：10,188筆 作況基準筆：654筆 巡回・見積り：1,725市町村

### 4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況

### 5 調査期間

#### (1) 作付面積調査：7月15日現在

#### (2) 予想収穫量調査：10月15日現在

### 6 調査方法

#### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

#### (2) 予想収穫量調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

## 7 集計方法

### (1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

### (2) 予想収穫量調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

## 8 用語の解説

(1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WC S用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。

(2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

(3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

## 9 利用上の注意

本調査(10月15日現在)は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。

したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

## 10 その他

本調査についての確定値は、「平成23年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

米 関 係 ペ ー ジ : 農林水産省 > 組織・政策 > 生産局 > 米と麦

<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/keikaku/soukatu/>

問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3682

(直通) 03-3502-5687

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3681

(直通) 03-6744-2045

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3589

(直通) 03-6744-2037